

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2372500856		
法人名	有限会社 富士松		
事業所名	グループホーム 輪楽笑		
所在地	春日井市白山町5丁目5番地の2		
自己評価作成日	平成28年 8月26日	評価結果市町村受理日	平成28年11月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kajgokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyouCd=2372500856-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022">http://www.kajgokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kani=true&amp;JigyouCd=2372500856-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 中部評価センター
所在地	愛知県名古屋市長左京山104番地 加福ビル左京山1F
訪問調査日	平成28年10月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【生活支援】【自立支援】に取り組み利用者がやれる事は出来るだけ最後まで手を出さない。また、出来ない事を無理やりさせない。スタッフは”お手伝い”に徹して柔軟に対応する。そしてホームの理念と基本である【ゆっくりと楽しくみんなで】を実践し笑いの絶えないホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者・職員は、利用者により良いサービスを提供しようと常に考えている。職員の見守りの中、自分でできる事は全てやらせてもらい見守りのケア(遅くともよい、手を出さない)に取り組んでいる。利用者の意欲や自信の回復に繋がり、尊厳を大事にした支援の成果が出ている。  
ホームの動きを『輪楽笑通信』で伝え、利用者の一日の様子を『○○さんの▽月』で報告しており、家族にホームの動きや利用者の様子を詳しく伝えている。その結果、家族アンケートでは回答した家族が全項目に満足(ややも含む)と答えており、家族から全幅の信頼を得ている。  
日当たりの良い畑からの収穫物が利用者の生活に楽しみを提供している。ホームの理念に『ゆっくり・楽しく・皆で』を掲げており、名実ともに笑い声のあふれた和やかなホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	-1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根差したホームをめざし、日々の生活を楽しく元気に送る事を基本とし、ご近所との繋がりを大事にして、そして出来るよう支援している。	理念の『自分らしく笑顔と共にわっはっは』を基に、『食べて、歩いて、楽しく』をモットーとして、日々のケアに活かしている。モットーは利用者・家族・職員共に周知し、常に明るく笑顔の絶えないホームである。	理念は周知され、職員が個々の思いで実践している。理念を展開したホームの目標を掲げ、職員が目標達成のため同じ方向に進むベクトル合わせを期待したい。
2	-2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の一員として盆踊り、お祭り、クリーン作戦などに利用者と共に参加している。またホーム紹介としてホーム行事、ひまわり新聞を回覧している。	利用者が町内の地域行事(お祭り・盆踊り・クリーン作戦・防災訓練等)に参加している。ホームでの行事案内を回覧版で発信し、バーベキュー大会等には地域の子供達が参加し、双方向の交流がなされている。	利用者は多くの地域行事に参加している。これからは地域の方々にもホームに足を運んでもらえるように働きかけ、より双方向の交流が充実するよう期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内行事に参加している。日々の散歩等では地域の人々に挨拶は欠かさず実施して身近な存在であることに努力している。		
4	-3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月毎に開催されており地域の役員、利用者家族の代表、利用者、包括担当者方々の意見を参考にしてサービスの向上に努めている。	出席者・開催回数共に基準をクリアしている。参加者から『悩み等が話せる機会として、互いのホームでの職員や家族同士の交流の場を設けては』との積極的な意見も出されている。	参加メンバーとして知見者の参加を促して会議内容を充実させ、出された意見をホームの課題として受け止め、継続審議して結論の出る会議運営を期待したい。
5	-4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	制度上不明な点があればその都度相談し、万が一事故発生時には早急に報告をし指針を受けている。	運営推進会議に市役所・地域包括支援センターの職員が皆勤で出席し、ホームの状況は市役所窓口によく理解されている。不明な点はその都度相談し、適切なアドバイスを頂いている。	
6	-5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象になる行為を 察知し事務所保管。言動の制限することなく、言葉による拘束を行わない事が原則として理解し見守り、声掛けの支援をしている。	身体拘束排除の宣言書を掲示し、職員は言葉の拘束を含め、身体拘束の内容を理解している。住宅建設の交通量が多いため、道路沿いの門扉の施錠はあるものの、玄関をはじめ各所のドアは施錠する事無く畑・中庭には自由に入出入りできる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止とはを冊子にまとめ何時でも目に触れる場所に掲示。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定例会議の場に於いてケアプランに基づき、日常生活、自立支援を個々に必要に応じて活用している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居日家族に契約書及び重要事項説明書を配布し説明をして理解及び納得を図り同意を得ている。		
10	-6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来所された際、ケア記録に目を通してもらい利用者の思い等伝えて運営に反映させている。	日常の来訪、料金支払い、運営推進会議、介護計画作成等、家族がホームに足を運ぶ機会が多く繋がりは密である。家族アンケートには『本当に家庭のようで、出来れば最後迄いさせたい』等、全幅の信頼がある。	
11	-7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフの日々の意見を常に耳を傾け必要に応じて反映させている。	会議で議論しても答が分からない場合、管理者が発言すると全員が納得出来る信頼関係がある。会議で『どうしても手を出してしまう、そこは利用者によらせねば』等、積極的な議論が交わされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は日々ホームを訪れ、スタッフがやりがいをもって働けるよう、また職場であるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を受講した際、会議に於いて研修報告を行い共有化している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修、ブロック会議を通じて交流しそこで得た必要と思われる事項を取り入れてサービス向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	体験入居により事前に本人の意向や思いをくみとりサービス計画書、モニタリングに沿った支援に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	体験入居までに現在の状況【不安、困惑、疲弊要望等】本人及び家族の思いに出来るだけ沿った支援をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他の施設の情報を提供し「その時」の最良の支援を提供している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者全員が家族として泣いたり、笑ったり、怒ったりと普段と変わらぬ日常生活を繰り返し信頼関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の日常生活の様子を毎月通信で知らせる。手紙で電話でそして来所の対応時に伝えて家族の安心を提供している。		
20	-8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人は勿論利用者が生活して来た場所等ドライブするなどの支援をしている。	町内の幼馴染みや同級生が訪ねて来ているが、『あんた誰』という言葉等でだんだん馴染みの関係が遠のいて来ている。ドライブで住んでいた近くまで出かけ、『この辺に薬局があった』と懐かしがる利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の交流と関係は見守りに於いて把握し最善のコミュニケーションを取り入れ実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が切れたからと言ってそのままにせず、本人及び家族の状況を把握し相談や支援をしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	-9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中でスタッフは言動や表情などから気持ちを受けて止め支援している。	利用者の思いを把握する為、表情・行動・会話の中からふと出る表情を見逃さないように支援している。言葉の少ない利用者でも1対1の場面(就寝前・外出時・入浴時)を活用して寄り添って話し、思いを引き出している。	直ぐに実現できる『思い』を叶えた事例は多くある。内容によって、計画的に進める必要のある『思い』を介護計画で取り上げ、実現していく工夫を期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの入居時から家族より出来るだけ多くの情報を得てサービスなどに取り入れている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	見守りや部屋の環境を観ながら、現状の心身の状態を把握して出来るだけ不安を取り除いている。		
26	-10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状を正しく把握する為、全スタッフでモニタリングを共有し問題点などを抽出し介護計画の作成に反映させている。	家族面会時や更新時には、家族からの聞き取りや家族からの『意向書』をベースにモニタリング(短期目標3ヶ月毎、長期目標6ヶ月毎)や全職員参加の担当者会議を開き、入念に介護計画を作成している。	短期目標・サービス提供内容を達成可能な具体的内容まで落とし込み、家族・利用者・職員が達成感を味わえる計画の作成を期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの中でどんな小さなことでも、記録し申し送りして全スタッフが情報を共有化している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々に変化することに対して、既存のサービスだけでなく柔軟に対応できるよう、スタッフ全員が色々な事に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアグループによる定期的に訪問を受け唄、踊り、バンド等を楽しみ地域主催の行事にも毎月参加。その他に外出支援をしている。		
30	-11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	登録病院による定期健診を月1回受診し電話による24時間の対応をして頂きホームとの関係が良好なものであり支援している。	かかりつけ医は利用者全員が協力医で受診し、職員が付き添っている。協力医による毎月の往診・電話による24時間対応等があり、協力医とホームとの信頼関係は良好である。専門医は原則家族対応である。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	専任看護師による一人ひとりの利用者の日常の健康状態を把握して、相談、助言を得、対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療相談員と連絡を取り利用者が安心して不安の無い入院が出来るよう対応をしている。家族へは情報連絡を密にして不安の無い様に取り組んでいる。		
33	-12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホーム、専任看護師、家族、医師の4者と話し合い特に家族へは十分な説明をし、納得したうえで最大限できる事を共有化している。	管理者は、本人・家族の意向があり、医療行為がない限りホームで対応し、その時が来た際には家族・医師・ホームで話し合いを行って柔軟に取り組む考えである。医療行為が発生して搬送先で亡くなっても、お葬式には参列する関係を継続している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全スタッフが年2回の救急隊員による救急法等を学び反復し利用者の急に対して対応をしている。		
35	-13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な消防訓練を実施してスタッフ全員が習得できるよう努力している。月1回の訓練は利用者全員も参加し実施している。	『避難誘導の習慣づけ』から、音が鳴ったら避難の訓練を毎週金曜日に行っている。年2回消防署立会いの避難訓練を行い、AEDを使用して心肺蘇生訓練も行っている。通報連絡網に裏の家庭も登録されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	-14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩である事、家族の一員である事を常に念頭に置き、利用者一人ひとりに合った合わせた声掛け等をして対応している。	日頃から人生の先輩である事、人格を尊重する事を周知し、言葉使い、入浴・排泄時の羞恥心に配慮している。職員から、『一人ひとりに目を向け・声をかけ・会話をする』との話しを聞く事が出来た。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で何気ない言葉などをくみとり、推測して自己決断が出来るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペース、個性を尊重して特技特性などを考慮して”その人らしい”楽しく満足に行くよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の身支度に於いて季節に合った服装等を声掛けしながら整え、時として美容院に出掛けるよう勧めている。		
40	-15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食えることが如何に楽しいかホームで作られた野菜などを自分たちで収穫し、献立を考え、下ごしらえをする事によりテーブルに並ぶことを楽しめるよう支援している。	畑で収穫した新鮮な野菜を調理し、食事の準備から使った食器の収納まで『力量』に合わせた役割がある。食後、ワゴン・歩行器で下膳、食器洗い、テーブル・食器拭き、棚へ整理等、多くの場面で活躍が見られた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー表を基に毎日の食事をチェックして過不足が出ないように努力している。又、水分補給については随時水分補給を実施している。何時でも水分が摂れるよう定まった場所にお茶を用意してある。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は必ず見守りの中歯磨き誘導を実施。定期的に訪問歯科による受診と口腔ケアを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	-16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの体調変化を見ながら排泄表とパターンを参考に、注意しながらトイレ誘導を支援している。	利用者個々の排泄パターンに合わせ、トイレ誘導・声掛けを行い、自立した排泄が出来る様に支援している。排泄の誘導の際の声掛けについては、羞恥心にも配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防体操を取り入れ繊維質の多い食事の提供を心掛けている。又、水分補給を勧めている。		
45	-17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	常に清潔を基本に柔軟な対応で入浴をしてもらい、楽しい入浴タイムに心掛けている。又、入浴剤は見た目にも楽しくなりそうな色を、石鹸については低刺激の物を提供している。	2日に1回の入浴を基本にしている。入浴拒否には無理強いせずに柔軟に対応している。季節感を味わう『菖蒲湯・柚子湯』や冬場の入浴剤等の工夫をして、楽しくゆったりした入浴になるように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのその日の体調により巡回を多くし、室温、寝具の調整をするなど安心して眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	必ず薬は手渡しで、服薬は見守りに於いて確認をしている。服薬の変化は登録医師に報告し指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や特技を出来るだけ活かしたレク制作や役割に楽しめるよう支援している。（調理、洗濯物干し、水まき等）		
49	-18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的な全員参加の外出支援、月2回の2～3名の外出支援。個人の希望に沿った支援。日々の散歩は日課となっている。家族の面会も外出や外泊対して推薦している。	重度化が進み、集団から2～3人の個別支援へと変更し、天候と体調を見ながら一月月に10回程度の外出がある。家族へは、個々の外出を詳細に報告している。その結果、家族アンケートで厳しい評価を受けがちな項目で、全家族が満足と答えている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出に於いては買い物の楽しさを味わう為、お金を持参して商品の品選びやレジでの支払いを自分で出来るよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望による電話や手紙のやり取りの支援をしている。暑中見舞いや大切な人等の便りは全員で書くことの支援をしている。		
52	-19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間、食堂等明るい日差しが入り居心地の良い空間である。壁面には利用者の作品等が掲示されている為、おしゃべりも弾む。外へ目を向ければ季節の花が楽しめる。	ホームの庭側は全面ガラスで、庭には花壇や畑があり、季節を身近で味わっている。日当たりの良いリビングは広々としており、テレビの前のソファーには利用者個々の名前が貼られ、シアターのVIP指定席の雰囲気がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間、食堂には共有スペースを設け個々に過ごしやすくように席の配置に配慮して居る。庭にはベンチを置き外気浴が楽しめる。		
54	-20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人と家族と相談しながら居室のレイアウトを考え、自分の部屋として色々な思い出等の品々を飾り、安心して暮らせるよう支援している。	遺影・位牌・写真等、思い思いのものが持ち込まれ、清潔で居心地よい雰囲気がある。新聞を購読して居室で読み、字を書くことが好きな利用者の作品や手芸・脳トレ等の習慣も継続できる様に支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリー化されており、共用部については車椅子や歩行器がすれ違えるよう広くとってある。出来るだけ自立した生活が出来るよう配慮している。		